



市議会だより

平成27年

第70号

2015.11

■発行：富良野市議会 ■編集：議会広報特別委員会 [富良野市弥生町 1-1 TEL.39-2322]

■ウェブ <http://www.city.furano.hokkaido.jp/shigikai/>



上段：(左) 第13回ふらの演劇祭

下段：(左) ふらの環境展2015「フリーマーケット」 (右) 図書館まつり2015「どんぐりのおはなし会」

平成27年

第3回

定例会

9月7日～9月18日
(12日間)

主な内容

- ・ 議決結果 P 2
- ・ 一般質問 P 3～6
8名の議員が市政全般について質問
- ・ 委員会報告等 P 7～9
総務文教委員会報告・保健福祉委員会報告
経済建設委員会報告
議会報告会報告
決算審査特別委員会設置
可決された意見書
- ・ 議会日誌・編集後記等 P 10

平成27年 第3回 富良野市議会定例会議決結果表

平成27年9月7日～9月18日(12日間)

| 議案番号 | 事 件 名 | 議決月日 | 議決結果 |
|-------------|--|-------|-------|
| 議案第1号 | 平成27年度富良野市一般会計補正予算(第4号) | 9月18日 | 原案可決 |
| 議案第2号 | 平成27年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第2号) | 9月18日 | 原案可決 |
| 議案第3号 | 平成27年度富良野市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号) | 9月18日 | 原案可決 |
| 議案第4号 | 平成27年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) | 9月18日 | 原案可決 |
| 議案第5号 | 平成27年度富良野市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) | 9月18日 | 原案可決 |
| 議案第6号 | 富良野市個人情報保護条例の一部改正について | 9月18日 | 原案可決 |
| 議案第7号 | 富良野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について | 9月18日 | 継続審査 |
| 議案第8号 | 富良野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について | 9月18日 | 原案可決 |
| 議案第9号 | 富良野市税条例の一部改正について | 9月18日 | 原案可決 |
| 議案第10号 | 富良野市手数料条例の一部改正について | 9月18日 | 原案可決 |
| 議案第11号 | 富良野市墓地使用条例の一部改正について | 9月18日 | 原案可決 |
| 議案第12号 | 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について | 9月18日 | 原案可決 |
| 議案第13号 | 富良野市表彰条例に基づく表彰について | 9月7日 | 原案同意 |
| 議案第14号 | 名誉市民推薦審議会委員の委嘱について | 9月7日 | 原案同意 |
| 議案第15号 | 富良野市議会会議規則の一部改正について | 9月7日 | 原案可決 |
| 議案第16号 | 議員の派遣について | 9月18日 | 原案可決 |
| 認定第1号 | 平成26年度富良野市一般会計歳入歳出決算の認定について | 9月7日 | 継続審査 |
| 認定第2号 | 平成26年度富良野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 9月7日 | 継続審査 |
| 認定第3号 | 平成26年度富良野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 9月7日 | 継続審査 |
| 認定第4号 | 平成26年度富良野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について | 9月7日 | 継続審査 |
| 認定第5号 | 平成26年度富良野市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 9月7日 | 継続審査 |
| 認定第6号 | 平成26年度富良野市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 9月7日 | 継続審査 |
| 認定第7号 | 平成26年度富良野市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 9月7日 | 継続審査 |
| 認定第8号 | 平成26年度富良野市水道事業会計決算の認定について | 9月7日 | 継続審査 |
| 認定第9号 | 平成26年度富良野市ワイン事業会計決算の認定について | 9月7日 | 継続審査 |
| 報告第1号 | 平成26年度健全化判断比率について | 9月7日 | 報告済 |
| 報告第2号 | 平成26年度資金不足比率について | 9月7日 | 報告済 |
| 報告第3号 | 株式会社富良野振興公社の経営状況について | 9月7日 | 報告済 |
| 報告第4号 | 株式会社ふらの農産公社の経営状況について | 9月7日 | 報告済 |
| 報告第5号 | 株式会社空知川ゴルフ公社の経営状況について | 9月7日 | 報告済 |
| 意見案第1号 | 林業・木材産業の成長産業化にむけた施策の充実・強化を求める意見書 | 9月18日 | 原案可決 |
| その他会議に付した事件 | 監査委員報告 | | |
| | ・例月出納検査結果報告(平成26年度5月分、平成27年度5月分、6月分) | 9月7日 | 報告済3件 |
| | 教育委員会報告 | 9月7日 | 報告済 |
| | 閉会中の都市事例調査について(総務文教・保健福祉・経済建設) | 9月18日 | 許可3件 |

一般質問

広瀬 寛人

〔ふらの未来の会〕

人事制度の在り方は

問 人事評価制度導入にあたり評価の客観性や透明性の確保はどのような仕組みか。

答 業務目標の設定及び評価する段階での評価者と被評価者の面談、評価結果の本人への開示により確保。

問 本省や民間との人事交流は重要と考えるが意義や必要性をどのように捉えるか。

答 視野の拡大、専門知識の習得が期待でき人間関係の構築という意味でも有意義なものと認識しているが、国の機関との交流人事については、国との協議が必要となるため、これまで実施していない。

問 第四次定員適正化計画の考

え方は。
答 今後5年間で50名の定年退職が予定されており本人の希望を確認の上、再任用するが、新規採用についても計画的な採用をする。

平成25年度勤務成績の評定の実施状況等調査結果
(平成24年度の状況)

○ 勤務評定の制度の運用として、国の人事評価制度と同様の取組（能力評価及び業績評価（目標管理））を行っている団体数
※ 一部の職位で導入している団体を含む。

| | | |
|--------|----------------|--------------|
| ▶ 都道府県 | 37 / 47 団体 | (実施率: 78.7%) |
| ▶ 指定都市 | 19 / 20 団体 | (実施率: 95.0%) |
| ▶ 市区町村 | 563 / 1,722 団体 | (実施率: 32.7%) |
| ▶ 合計 | 619 / 1,789 団体 | (実施率: 34.6%) |

※ 実施率は、各区分の団体数（平成25年4月1日現在）に占める割合。
※ 対象は、知事部局・市町村長部局の一般職職。

総務省「地方公務員法等の一部を改正する法律に関する説明会」資料 (H26.6.9)

昨今の自治体業務には専門的な知識が必要な部署が増えており、有資格者の採用や職員の資格取得の奨励と合わせ、専門的職員と総合職員の区分を設けて人材育成を検討する。

問 年齢階層の歪（ゆが）みを修正する採用や多様性、国際化に対応した自治体職員の配置を念頭に職員採用には何らかの改善策が必要と考えるが見解は。

答 就職戦線が売り手市場になつており優秀な人材確保のためには、採用方法など柔軟な対応も必要と考える。今後、国際感覚、豊富な知識・経験を有する社会人枠を設けて採用するなど幅広く人材を確保する方策の検討が重要と考える。

宇治 則幸

〔市民連合議員会〕

農業・農村の現状と対応は

問 市では、担い手育成センターを拠点として、多様な農業の担い手の確保・育成を始めている。雇用就農者として、農外出身者でUターンを希望する者や中高齢者の受け入れも有望と考えるか。

答 雇用就農に関する今後の確保・育成に関しては、出身地や居住地、年齢を限定せず、市内をはじめ、全国から募集する現在の方式を継続することを基本とするが、応募要件等は個別に対応していく。

問 体験実習コースを設けているが、広く市民（特に女性）が参加できるようにする考えは。

答 本年度は、将来、農業に従事することを考えている市民向けに園芸作物の栽培管理作業を学ぶ「農業実施セミナー」を開催し、6名の市民が参加した。このセミナーは市民が農業従事するきっかけづくりとして開

催しているもので、来年度以降の開催にあたっては、女性が参加しやすい内容を検討するとともに、市民への周知、募集方法のあり方も工夫して、参加者数の確保に努めていく。

問 国営事業・道営事業で整備した農業水利施設の老朽化対策と今後の方向性は。

答 現在は、市内3地区において、国営事業による農業水利施設の改修整備が進められている。道営事業で造成した水利施設については、施設の管理者である土地改良区を中心に、地元農業者の意向調査等を行いながら集落でのまとめ、体制づくりを基に、順次施設の更新を進めていく予定と伺っている。



担い手募集パンフレット

佐藤 秀靖

〔ふらの未来の会〕

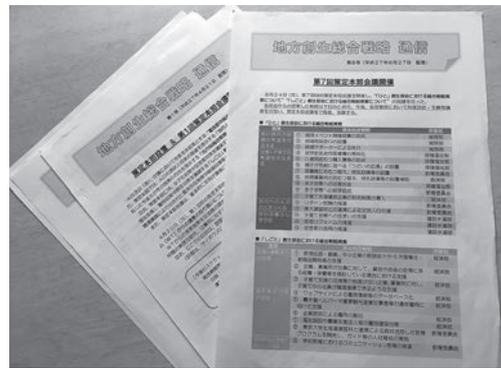
地方創生総合戦略は

問 地方創生総合戦略策定段階における、市民に対する情報提供と情報共有が不十分だと考える。策定状況と市民参加の時期と方法は。

答 総合戦略策定に先駆けて、昨年の「市長と語ろう地域懇談会」で「人口減少問題」について市民の皆さんからご意見を頂戴し、昨年末より庁内ワーキングチームで検討した提言を受け、本年4月より総合戦略策定本部を設置して、様々なデータの分析を進めている。9月には公募市民を含む有識者会議を設置して素案のとりまとめを進め、下旬より始まる今年の「市長と語ろう地域懇談会」で、データ分析の結果を報告し、議論を深め、12月に市民によるパブリックコメントを実施する予定。

問 地域懇談会開催前にデータ分析などの情報を提供して建設的な意見の聴取に努めるべきではないか。

答 広報・ホームページなどで情報提供していく。



市ホームページ地方創生総合戦略通信

総合戦略のビジョンは

問 厚生労働省は、保健医療政策と一体となったまちづくり、都市政策を推進する政策を提言している。現在策定中の総合戦略に「食」と「健康」をキーワードにしたまちづくりを組み入れたらどうか。

答 総合戦略はその指針に則り、4つの基本目標を設定し、具体的目標数値を設定することとされているので、戦略の体系上適さない。

提案は総合計画後期計画で参

水間 健太

〔ふらの未来の会〕

若者への就労・起業支援は

問 若者の地元就労に対するニーズの分析と対策は。

答 平成26年度は高卒就職希望者の62%が市内で就職をしている。市の取組では「ふらの就職応援フェア」を行い、39歳以下の過去3年間の採用者は26名、うち12名が富良野市民となっている。高校生企業説明会参加者アンケートでは、①職種②富良野管内の企業③給料の額、と地元志向が強い傾向にあると感じている。今後は、市外に居住する富良野出身者への情報提供を行っていく。

問 女性の就業機会の拡大は。

答 多様な社会情勢の中、市民の意見を聞きながら進めていきたい。

地方創生の観点からも、ワークライフバランス、女性の仕事と子育ての両立や様々な職業選択ができるような状況づくりをしていく。

問 若者への起業支援は。

答 中小企業総合補助金やチャレンジ資金融資を行っている。過去3年間の実績は、起業20件、うち39歳以下8件となっている。

商工会議所がワンストップ窓口となり、市担当窓口は、支援制度や相談先の情報提供を行っている。

問 若者への起業支援は、資金的なものよりも総合的な支援体制が必要と考えるが。

答 関係団体と意見交換をする機会の中で、若者への起業支援について総合的な支援体制を検討していく。

△その他の質問▽

・ふらの青年塾の今後の展望は。



地域の若者が中心となり開催した富良野フェス twilight

本間 敏行

〔ふらの未来の会〕

合同墓の設置は

問 後継者がいなくてお墓を守る人がいない、経済的にお墓を建てるのができない、また、墓じまいを考えている方の為に、現在、全道では、9市が合同墓を設置し、上川管内では士別市も設置の動きをしており徐々に数は増えている。本市の合同墓の設置の考えは。

答 本市は、都市部における墓地不足、用地確保が困難という状況ではなく、お墓を求める市民の要望に十分応えることがで



市営9線墓地

きている状況と考えている。また、設置公営施設の多くは、宗教色を排除し、承継の必要のない墓として位置づけ運営しており、本市としては、お墓及び供養は本来的に個人が承継していくべきものと考えている。また、仏教界においても承継の仕組みがあり、経済的に困窮する方についても、供養が可能な配慮がされていると伺っている。廃墓後の遺骨の供養にも、多様な手法があると認識している。今後、自治体の設置に至った背景等の詳細を確認していくが、道内各市の状況を把握する中で、本市において合同墓の設置は、現在、必要性はないと判断する。

医療費の削減は

問 ジェネリック医薬品の使用率アップの考えは。

答 市民の医療費自己負担を軽減するうえで、ジェネリック医薬品の一層の利用促進をめざし、薬の重複や飲みのコシ等、医師や薬剤師に相談を促すことにより、解消・改善を図って行く。

△その他の質問▽
・新エネルギーの導入計画は。

萩原 弘之

〔民主クラブ〕

市道の交通安全の啓発と事故防止の対策は

問 市道における事故多発箇所の把握と事故原因分析をどのようにされているのか。また、注意喚起の方法は。

答 昨年の物損を含めた事故件数は661件発生している。死亡事故が発生した場合は警察や富良野交通安全協会と道路管理者と合同で事故原因の分析を行ない、各所々で防止方法の検討を行っている。対策としては注意喚起看板の設置や路面加工等の対策を行っているが、交通安全の啓発は市民や地域に呼びかける対策が大切であることから、関係団体と連携を図っていく。

問 本市に訪れる観光客のレンタカー利用が多くなってきた中で特に外国人の交通安全対策と注意喚起の方法は。

答 交通ルールや交通標識の違いなどがあるので安全運転のチラシをレンタカー会社や各地で

配布を行っている。富良野交通安全協会の取り組みで、外国語表記の「とまれ」看板の設置を行っている。サイクリングの観光客にはサイクリングマップの配布で注意喚起やマナー周知している。また道路ポイントによるサイクルサインも検討をしている。サイン計画を策定する中で市民にも観光客にも注意喚起をしていく。

問 外国人観光客に交通ルールを理解してもらい、互いに注意喚起できるステッカー表記などを利用する策の取り組みは。

答 現在国や道には道路標識の英語表示化などの要望をしている。民間では一部外国人運転者の表記策を行っているが、市としてはチラシ等の啓発を行う。



事故多発現場

岡野 孝 則

〔民主クラブ〕

防犯カメラ設置と安全・安心メール加入促進対策は

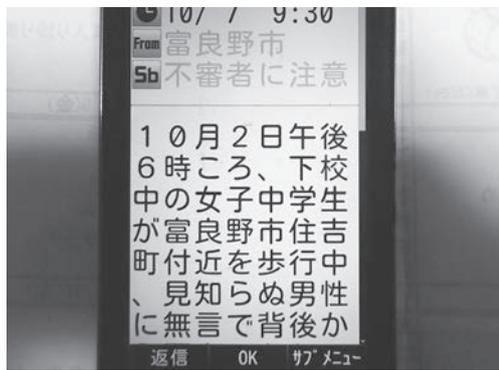
問 犯罪防止のため、公共施設に防犯カメラを年次計画にて設置する考えは。

答 現在、市施設では、小学校2校、保育所1か所、ポップポイント、文化会館に設置を行い、犯罪防止、施設の安全管理を図っている。カメラ設置については、施設の利用状況など、必要性を総合的に判断していく。

問 携帯電話での安全・安心メールは、現在617名が加入されている。また、ごく少数と思う。防災・防犯の観点から、住民に情報を迅速に知らせることができるメール。今後、連合町内会長会議などを通じ、今までに倍し加入促進が必要と思うが。

答 犯罪のない安全で安心な地域づくりを推進するため「防犯、防災に関する情報」を迅速に届ける有効な方法として平成23年より開始。今後も連合町内会長

会議、広報、出前講座などで登録をPRし利用拡大に努める。



迅速に情報伝達、安全安心メール

合併処理浄化槽事業を
来年度以降も継続を

問 本事業該当地区において、未設置世帯に対し、快適な生活環境推進のために、本事業は来年度以降も継続必要と思うが。

答 平成10年度から合併処理浄化槽設置整備事業を開始。本事業設置目標は市民ニーズ調査結果に基づき平成27年度までに計400基と設定。現在累計398基の実績、99.5%の進捗率となっており本事業は今年度で終了する。今後は、住宅リフォーム促進事業補助金の活用に向けて周知を図る。

黒岩 岳 雄

〔雄飛の会〕

ブランド観光圏への取り組みは

問 平成29年認定に向けて、進捗状況と課題と対策は。

答 ブランド観光圏とは、日本の顔として国内外から選好される差別化された観光地域を認定する国の制度で、全国13か所の観光圏が認定に向けて取り組んでおり、富良野・美瑛観光圏も各種認定要件の整備を図っている。新たなインフォメーションセンターの必要性については、北海道の重点地区であり中核的な情報発信、受け入れ基地とし



富良野駅に望まれるバリアフリー化

て、富良野が適当と考えている。JR富良野駅のバリアフリー化と公衆トイレ等の環境整備の必要性については、毎年JR北海道に要請をしている。乗降人員を増やす対策の他に観光地の表玄関であることを含め、JR北海道に対し行政として何か協力できないか協議中である。

農産物のブランド化は

問 農産物のブランド化と輸出政策は。

答 今後、国内の食市場は高齢化、人口減少などで縮小し、世界では人口増、経済成長など市場規模は拡大すると考える。農産物の国内市場の縮小分を国外に活路を見つけ市場優位性を確保するため、ブランド化は必要である。本年6月から始まった「地理的表示制度」は本市の現農業では登録が困難である。一方、本市が全道に先駆けて推進しているGAPのうち、グローバルGAPは事実上世界の小売卸売業者等が取引において重視する世界基準である。GAP認証取得を推進し輸出がスムーズにいくよう支援していく。

委員会の動き

総務文教(事務調査報告)

■調査第1号「図書館について」

本市は第5次総合計画の基本目標に「やさしさと生きがい」が実感できるまちづくり」を掲げ、個別目標として豊かな心身を育む社会教育活動の環境づくりの中に「読書活動の充実」とあり、現在その推進と具体的実施に向けて平成27年「子どもの読書推進プラン」を策定し、家庭・子供・地域・学校・行政の連携による読書環境の整備に取り組んでいるところです。

この度の図書館についての調査にあたり、本市の図書館の現状とその現状を把握するため担当部局にその資料の請求と説明を求め、更には今後の方向性を様々な観点から検証するために調査を行いました。

会議の中では現在の図書館が平成4年に開館をしていることから現在の蔵書数や業務内容の変化に伴う施設のあり方、学校図書の状態把握と連携について議論をしているところです。



市立富良野図書館

更には、市民にとって生涯学習としての読書の必要性を探り、多様性を求められる公共施設としての図書館機能のあり方やボランティア団体との連携のあり方などについて議論があり、読書環境と図書館機能を充実することが、市民にとって大きな財産となり、将来のまちづくりには必要不可欠と考えるところであります。

今後、都市事例調査を行わない参考となる事例の実態把握と聞き取りをすることで、市民生活や読書活動の拠点としての図書館像や学校図書の連携について更に調査を深めたいことから、今回は継続調査を求めるものであり、中間報告といたします。

保健福祉(事務調査報告)

■調査第2号「少子高齢化の実態と対策について」

少子化と高齢化の対策は、今後の本市の人口減少対策において考えなければならない、最も重要な課題であり、早急に対応して行かなければならない課題であります。

しかし、この課題は日本社会において、長い年月を重ねて起きた現象であり、見方を変えると個人のプライバシーに関わるデリケートな課題であり、徐々に問題点の糸口を探りながら解決を図って参りたいと考えております。

又、この二つの現象が同時に起きた事は、世界でも例を見ない事例であり、世界に先んじて解決して行かなければいけないものであります。

委員会では、担当部局に、少子高齢化の実態について説明を求め、子ども・子育て支援事業計画、第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画をもとに議論を重ねて参りました。議論



子ども・子育て支援事業計画

の中で課題を絞り込み、まずは「子育ての実態と課題」を中心に、ファミリーサポートセンター事業、通常保育事業の実態と市の関わりについて説明を求め、実態把握に努めて参りました。

課題として、保護者が求めているものと市が計画している事に差があるのではないかと、求めているものは何か、生活困窮者への対応が無いのではないかと、意見が出されました。

今後は、都市事例調査の実施により、これら問題の解決に向けて調査を進めて参りたいと考えております。以上、保健福祉委員会からの中間報告といたします。

経済建設(事務調査報告)

■調査第3号「市道及び道路環境の整備について」

本委員会では、担当部局に資料の提出と説明を求め、はじめに市道並びに排水路のこれまでの整備状況と今後の整備の方向について説明を受け、更に現在まで整備・修繕が行われてきている市内の道路、橋梁の他、今年から5か年計画で整備を行う排水路の現地調査を行い、道路行政の現状と課題の把握に努めてきております。

市道及び道路環境の整備については、市民生活や産業の基盤となるインフラ整備を進めていく上で必要不可欠なものであります。本年9月10日未明からの雨は台風18号の影響により、関東、東北地方では記録的な大雨が線状降水帯となり大災害が発生し、「平成27年9月関東・東北豪雨」と命名されました。近年は、異常気象により全国各地で発生している局地的な集中豪雨による道路と橋梁被害への対応や排水路の整備による予

防策は急務であり、道路整備を進めるにあたっては、人口減少に伴うコンパクトシティ推進の流れを受け、従来の拡大志向のまちづくりから転換期を迎えていることなど、行政によるその推進施策はますます重要なものとなってきているところです。

本委員会では、今後市街地域及び農村地域における「道路」「排水路」「橋梁」の3項目について重点的に調査を進め、合わせて先進地の事例調査を行い、本市の道路行政の目指す方向性について更に深く議論の掘り下げが必要なことから継続調査を求めるものであります。以上、経済建設委員会からの中間報告といたします。



市内排水路の現地調査

議 会 報 告 会

本年は15会場での開催を予定し、随時、各自治会長さんと日程を調整、開始しております。まだまだ途中ではありますが、参加状況をお知らせいたします。

■2会場で議会報告会を開催

◇各会場では、次の事項について、幅広く意見や要望、質疑等が交わされました。

[朝日会館] ・ 8名参加

・朝日通の街路樹・側溝について、農村部の防犯灯について、危険家屋について、議員定数について、コミュニティ推進委員について、小中学校のスキー授業送迎について、山部診療所について等

[北の峰コミセン] ・ 5名参加

・虹いろ保育所について、旧保育所の跡地について、市庁舎・文化会館の耐震について、道路管理や交通安全対策について、議会中継について、特色ある学校づくりについて等

◇なお、11月以降も随時開催いたしますので、多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

平成27年度 議会報告会開催状況・予定

(10月13日現在)

| 日 時 | 終了 | 会 場 名 | 参 集 範 囲 |
|----------------|----|-----------|------------------------|
| 8/28(金)18:30~ | 済 | 朝日会館 | 朝日町・本町・日の出町 |
| 9/26(土)18:30~ | 済 | 北の峰コミセン | 北の峰町・学田三区・下御料 |
| 10/19(月)18:30~ | | 西地区コミセン | 桂木町・新富町・西町・北斗町・清水山・島の下 |
| 10/20(火)18:30~ | | 末広コミセン | 末広町・弥生町・若松町 |
| 10/30(金)18:30~ | | 栄町コミセン | 栄町・若葉町・幸町 |
| 11/4(水)18:30~ | | 瑞穂コミセン | 花園町・錦町・新光町・住吉町・瑞穂町・東雲町 |
| 11/7(土)18:30~ | | 東春コミセン | 春日町・東町 |
| 11/11(水)18:30~ | | 南コミセン | 緑町・扇町・南町 |
| 11/12(木)18:30~ | | 育良会館 | 五区・上御料・中御料 |
| 11/16(月)18:30~ | | 東山公民館 | 東山・西達布・老節布・平沢 |
| 11/24(火)18:30~ | | 山部福祉センター | 山部全域 |
| 11/27(金)18:30~ | | 鳥沼会館 | 鳥沼・大沼・学田二区 |
| (以下未定) | | 麻町児童センター | 麻町 |
| | | 布礼別集落センター | 布礼別・富丘・八幡丘・麓郷全域 |
| | | 布部会館 | 布部・扇山 |

平成26年度 決算審査特別委員会設置！

◇平成26年度一般会計外各会計決算が、監査委員（宇佐見正光氏、渋谷正文氏）の審査を受け、認定を受けるため第3回定例会に提案されました。

【一般会計・特別会計】

- ・一般会計歳入歳出決算
- ・国民健康保険特別会計
- ・介護保険特別会計
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・公設地方卸売市場事業特別会計
- ・公共下水道事業特別会計
- ・簡易下水道事業特別会計

【企業会計】

- ・水道事業会計決算
- ・ワイン事業会計決算

◇本議会では、各会計の決算審査のため、議長と議会選出監査委員を除く議員16名による特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

なお、9月7日の定例会終了

後に委員会を開き、委員長に石上孝雄委員、副委員長に岡本俊委員を選出しました。

◇また、9月18日の定例会閉会后に委員会を開催し、各所管にかかる審査日程及び決算審査に必要な審査資料を決定するとともに、26年度決算の総括説明を受けました。

【各所管審査日程】

| | |
|-----------|------------------------|
| 11月4日(水) | 保健福祉部 看護専門学校 経済部 |
| 11月5日(木) | 建設水道部 教育委員会 |
| 11月6日(金) | 総務部 歳入総括 |
| 11月16日(月) | 予備日 |

右記日程にて傍聴できます。

可決された意見書

◇第3回定例会に議員提案された意見書は次の1件です。意見書は可決後、直ちに関係機関に送付しました。

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
(宇治 則幸 議員 外5名)

地球温暖化が深刻な環境問題となっている中、二酸化炭素を吸収・固定する森林や木材が果たす役割が重要になっている。

森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と、山村における雇用安定化を図るため、公共事業である森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保するとともに、今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、地域の特性に応じた森林の整備・保全を進め、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を求める意見書

提出された陳情書

◇9月7日に「ふらの九条の会」(森伸 一代表) より安全保障法制改定関連法案の撤回、廃案を求める陳情書が、577筆の署名とともに市議会議長あてに提出されました。

◇陳情書の内容は国会で審議されている、平和安全法制整備法案並びに国際平和支援法案の撤回と廃案を求める内容でした。

◇本陳情書の提出を受け、市議会では9月15日に議会運営委員会を開催し、その取扱いについて協議しました。

◇委員会の中では、議会最終日に意見書を採用するか否かを考えながら各党派より意見が出され、署名の重みを考え、市議会として取り上げる意見や、参議院特別委員会の審議状況を鑑み、慎重審議を求めることは良いが、法案の撤回・廃案は出来ないなどの意見が出され、最終的には、各党派より出された意見が全会派一致とならず、市議会として意見書の提出は行わない結論となりました。

8月

- 4日・総務文教委員会
・経済建設委員会
- 6日・議会広報特別委員会
- 12日・保健福祉委員会
- 17日・経済建設委員会
- 24日・総務文教委員会
- 27日・保健福祉委員会
- 28日・議会報告会（朝日会館）
- 31日・第3回定例会告示

9月

- 1日・正副議長・議運正副委員長会議
- 2日・議会運営委員会・代表者会議
- 7日・第3回定例会（1日目）
・総務文教委員会
・経済建設委員会
・議会広報特別委員会
・決算審査特別委員会
- 14日・第3回定例会（2日目）
- 15日・第3回定例会（3日目）
・議会運営委員会
- 18日・第3回定例会（4日目）
・決算審査特別委員会
- 25日・総務文教委員会
- 26日・議会報告会（北の峰コミセン）

10月

- 5日・議会広報特別委員会
・沿線議長会議員研修会
- 6日・総務文教委員会
・経済建設委員会
- 7日～9日
・総務文教委員会都市事例調査
- 8日～9日
・保健福祉委員会都市事例調査
- 13日・議会広報特別委員会
- 19日・議会報告会（西地区コミセン）
- 20日・総務文教委員会
・保健福祉委員会
・議会広報特別委員会
・議会報告会（末広コミセン）
- 25日～29日
・民主クラブ都市事例調査
- 30日・広域連合議会全員協議会
・広域連合議会
・議会報告会（栄町コミセン）

傍聴してみませんか

平成27年第4回市議会定例会の開会予定日をお知らせします。

| 【日 程】 | |
|-----------|---------|
| 12月7日(月) | 開 会 日 |
| 12月14日(月) | 一 般 質 問 |
| 12月15日(火) | 一 般 質 問 |
| 12月16日(水) | 予 備 日 |
| 12月18日(金) | 最 終 日 |

- ※開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程をご確認ください。
- ※多くの方の傍聴をお待ちしています。

お問い合わせ：議会事務局

☎39-2322

●各常任委員会では、議長の許可を受け、閉会中次のとおり都市事例調査を行います。

■都市事例調査

| 委員会名 | 調査件名 | 調査地 | 調査日 |
|---------|-------------------|--------------------|-----------|
| 総務文教委員会 | 図書館について | 苫小牧市 石狩市 幕別町 | 10月7日～9日 |
| 保健福祉委員会 | 子ども子育て支援施設の実態について | 滝川市 北広島市 | 10月8日～9日 |
| 経済建設委員会 | 道路及び周辺環境の整備について | 札幌市 室蘭市 登別市 | 11月9日～10日 |

編集後記



▼9月の定例会も閉会し、秋の深まりと共に周りの峰々の頂きもすでに白く、朝晩の暖房も必須となる季節を迎えました。

▼今年の改選後、3回目の議会だより発行となりますが、議会が果たしている役割や、どのような議論がなされているのか、解り易く、読み易い広報誌をめざし、委員全員で、創意工夫、努力して参りたいと思います。▼皆さま、風邪などひかぬように、ご自愛下さい。

議会広報特別委員会

副委員長 後藤 英知夫